

## 300年以上続く「野崎まいり」

江戸時代の近松門左衛門・半二などの歌舞伎・浄瑠璃で有名な「お染・久松」。明治には落語「野崎詣り」また昭和に入ると日本初のPRソング「野崎小唄」が発売される等、数々の創作物において舞台となっています。



河内名所図会 野崎まいり

野崎観音ご本尊「十一面観音立像」平安時代10世紀頃の製作と推定され大東市最古の木造の仏像です。曹洞宗慈恵寺（野崎観音）では、毎年5月1日から8日に「野崎まいり」が開催され、8日には無縁経法要の営みが行われています。



十一面観音立像 (市指定文化財)

野崎観音へは、先に専應寺太子堂の「聖徳太子立像」に参詣後に参拝するのが、「野崎まいり」の習わしです。近年、期間中には露店200軒以上が参道に立ち並び20万人以上の参詣者で賑わいます。



聖徳太子立像 (市指定文化財)



野崎詣りの参道の様子

野崎観音西門

## 小楠公（四條畷の戦い）

正平3年（1348）正月5日宮谷川を境に北朝方「高師直」と南朝方「楠正行」の雄雌を決する戦いが、朝から夕刻までありました。東高野街道と深野池に囲まれた小楠公街道沿いには「古戦田」「ハラキリ」の地名が残っています。楠正行公の像は市内の以下で見ることができます。

- ・四條畷駅コンコース... 4
- ・十念寺... 4
- ・飯盛山頂... 6



小楠公像

## アドベンチャーin飯盛

飯盛山麓に広がるたっぷりのマイナスイオンを含む豊かな四季折々の大自然。大東市野外活動センター「キャンピィだいてう」では、自然の中で冒険・キャンプファイヤー・ピザ作り等が楽しめます（要予約）。



近辺では、モトクロス練習場・高校野球の名門「大阪桐蔭高校」野球部の練習風景を垣間見る事もできます。

## 大東の地車（だんじり）

北河内型と称される大東市の大型だんじりは「農村だんじり」。彫物は少ないが赤幕・提灯・銚子（かざり）金具等は、趣向を凝らし各地域で33台保有の地車は、特徴を競い合います。四條地区中之町の地車は「小松源助作」で日本一の大型と言われています。



秋祭りでは、氏子集落に災いが入り込まない様に集落の隅々まで32台が曳行します。地車曳行の安全・厄除けの祈願として「湯上げ神事」や神への奉納芝居「俄（わか）」なども伝承されています。

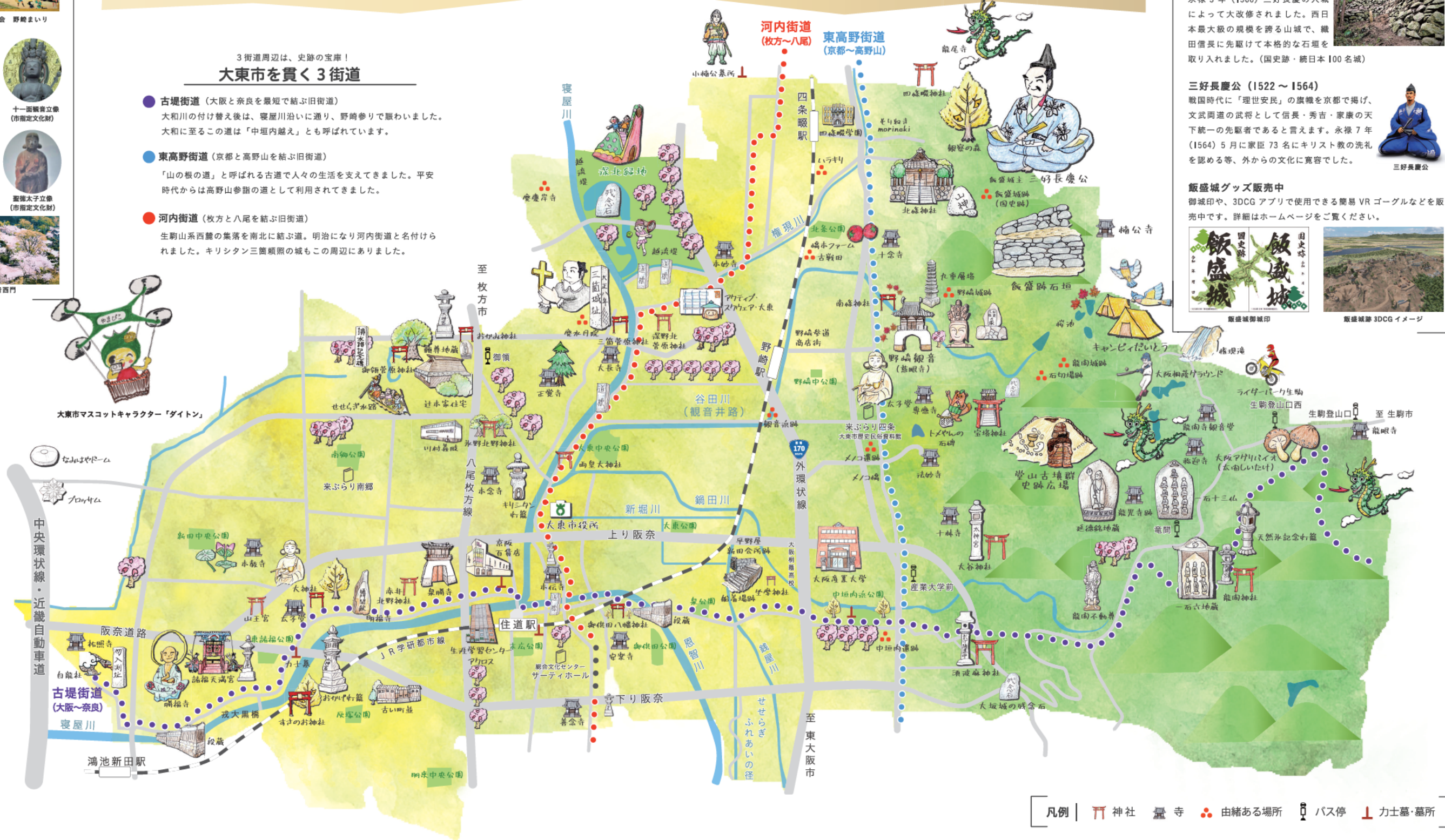


巫女の湯上げ神事

# あなたと歩く大東の魅力

## 3街道周辺は、史跡の宝庫！ 大東市を貫く3街道

- **古堤街道**（大阪と奈良を最短で結ぶ旧街道）  
大和川の付け替え後は、寝屋川沿いを通り、野崎参りで賑わいました。大和に至るこの道は「中垣内越え」とも呼ばれています。
- **東高野街道**（京都と高野山を結ぶ旧街道）  
「山の根の道」と呼ばれる古道で人々の生活を支えてきました。平安時代からは高野山参詣の道として利用されてきました。
- **河内街道**（枚方と八尾を結ぶ旧街道）  
生駒山系西麓の集落を南北に結ぶ道。明治になり河内街道と名付けられました。キリシタン三箇頼朝の城もこの周辺にありました。



凡例 | 神社 寺 由緒ある場所 バス停 力士墓・墓所

## 国史跡 飯盛城跡

戦国時代の首都「河内飯盛城」  
河内・大和の国境、標高約314位の飯盛山山頂に構えられた山城は、永禄3年（1560）三好長慶の入城によって大改修されました。西日本最大級の規模を誇る山城で、織田信長に先駆けて本格的な石垣を取り入れました。（国史跡・続日本100名城）



三好長慶公（1522～1564）  
戦国時代に「理世安民」の旗幟を京都で掲げ、文武両道の武将として信長・秀吉・家康の天下統一の先駆者であると言えます。永禄7年（1564）5月に家臣73名にキリスト教の洗礼を認める等、外からの文化に寛容でした。



飯盛城グッズ販売中  
御城印や、3DCGアプリで使用できる簡易VRゴーグルなどを販売中です。詳細はホームページをご覧ください。



## 北欧スタイル morineki(もりねぎ)

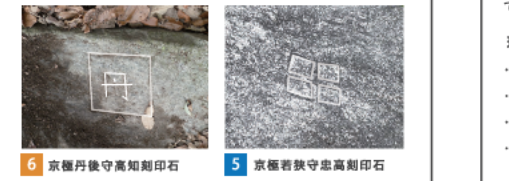
豊かな時間と空間を得られる morineki は、飯盛山の「森」を表し「ねぎ」は、河内弁で「近く」を表します。自然の中で食とショッピングが、一度に楽しめる大東の街角です。



- 4 観覧の森で自然に出会おう
- ハリエンジュ
- 北条の大イチョウ

## 大坂城の残念石

徳川大坂城の石垣は良質の花崗岩で飯盛山からも切出されました。運搬途中水中に誤って落とした石が深北緑地公園などにあります。このように城の石垣として使用されない石が残念石と呼ばれています。

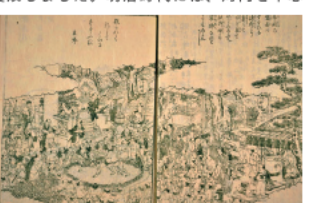


6 京極丹後守高知刺印石 5 京極若狭守忠高刺印石

## 盛んだった河内相撲と力士墓

河内の村には、村相撲の頭取（年寄）と力士の墓が数多く見られます。頭取は村に相撲部屋を組織し弟子（門弟）を養成しました。明治時代には、河内を中心に約80の村相撲部屋と8つの相撲組合が存在し、大東市は、東中組に属しています。

- 現存する力士墓
- ・諸福・太子田.....早碓 1
  - ・赤井・下野.....日之出山 1
  - ・野崎.....楠岩五郎 3
  - ・中垣内.....玉乃森 4



『河内名所図会』6巻5 出典：国立国会図書館デジタルコレクション

## 水郷の町：御領・辻本家住宅（国登録有形文化財）

御領地区の主な農産物は米と薬根でした。その為に水路が不可欠で網の目のように張りめぐらされていました。農家には田舟があり農産物や物資の輸送に活躍しました。現在ほとんどの水路は埋められたものの残っている「御領せせらぎ水路」では田舟体験が出来ます。（4月～9月第1・第3日曜日 乗船100円）



御領水路 2階のサス